

平成 30 年度 第 5 回 第 6 期武蔵野市廃棄物に関する市民会議要録

- | | | |
|--------|---|-------------------------|
| 【日 時】 | 平成 31 年 2 月 26 日 (火) | 午後 7 時 00 分～午後 7 時 58 分 |
| 【場 所】 | 市役所西棟 8 階 | 812 会議室 |
| 【出席委員】 | 山谷修作、田口誠、荻野芳明、金井憲一郎、
(敬称略) 加藤慎次郎、木村文、新垣俊彦、吉安晶子、茂木勉、西上原節子、
能勢方子、沢村哲志 | |
| 【事務局】 | ごみ総合対策課長 | ほか |
| 【欠 席】 | 花俣延博、松井理依子 | |
| 【傍 聴】 | なし | |
| 【配付資料】 | | |
| | ・【資料 1】武蔵野市一般廃棄物処理基本計画【中間とりまとめ】(案) | |
| | ・【追加資料】クリーンセンターにおける可燃ごみピット内の火災について | |

1 開会

【事務局】定刻となったので、市民会議を開催する。進行を委員長へお願いする。

【委員長】進行を務める。議題 1 について説明をお願いする。

2 議題

(1) 武蔵野市一般廃棄物処理基本計画【中間とりまとめ】(案) について

【事務局】資料 1 『武蔵野市一般廃棄物処理基本計画【中間とりまとめ】(案)』内の(素案)からの変更点について説明した。

【委員長】意見はあるか。

【事務局】【中間とりまとめ】(案) は 3/15 から 4/1 の期間パブリックコメント(以下パブコメ)の募集を行うため、委員の方々からは、2/27 から 3/4 までに意見を頂きたい。

【委員長】それを踏まえて、現段階での意見はあるか。

【委員】21 ページの表 2-4 のごみ区分と 8 ページの表 1-5 の区分を比べて、粗大ごみ処理経費について伺う。ごみ処理経費の実績の表 1-4 に示されているが、その内訳の表 1-5 に、粗大ごみ処理経費が含まれていない。

【事務局】表同士の整合性が取れる形での修正がとれるか確認を行い、必要であれば修正を行う。

【委員長】確認のうえ修正をお願いしたい。【中間とりまとめ】(案) のパブコメを行うことに対し異議はあるか。

【一 同】(異議なし)

【委員長】次の議題についてお願いする。

(2) その他

【委員】追加資料『クリーンセンターにおける可燃ごみピット内の火災について』

説明した。

消防の見解として、原因不明との回答を受けている。

市の見解として、3つの原因を考えている。

- ・不燃ごみ処理からの可燃残渣投入時にリチウムイオン電池等の発火物が混入

- ・破砕処理工程から発火物が混入

- ・通常ごみ中にライター、吸い殻等が混入

3月初旬に今回の事件の経過対応及び原因について議会へ報告を予定しており、現在も原因究明に向け対応している状況である。

【委員】 今後の市民への周知はどう対応していく考えか。

【委員】 これまでもHP等でPR活動や、市報でも市民への分別徹底のお願いしており、特別に新たにビラ等を作成しPRを図るのではなく、既存のHPや市報等の媒体を活用して粘り強くPRをしていく予定である。

【事務局】 4月からのごみ収集頻度と収集日の変更に伴い、ごみカレンダーを市民へ配布をするが、その中に危険・有害ごみについての記載もあるため、そちらも活用して周知できればと考えている。

【委員長】 ごみニュースが主たる媒体になるかと思う。次の議題について説明願う。

【委員】 昨年12/14、12/15、年明けの1/18、1/19、2/2の計5回ごみピットバーを開催した。非常に多くの参加希望があり、地方からの参加者もいた。イベントがメディアにも取り上げられる等、世間からの反響が非常に大きかった。来年度以降も可能なら工夫をしながら継続したいと考えている。また、開催に付随して、メディアでクリーンセンターが取り上げられるようになり、3月初旬と中旬に2回のテレビ特番で放送予定となっている。

【委員】 クリーンセンターの存在がメディアを通して周知されることは良いことだと思う。しかし、周辺住民のイベントへの反応としては、ごみピットでの火災の件もあり冷ややかだったと感じる面もある。今後続けていけるように市民からの理解を得られるよう工夫してもらいたい。エコプラザにどう繋げていくかも考えていく必要もある。反響が良いといって、短絡的にならず、周辺住民に寄り添ったソフトランディングを心掛けてほしい。

【委員】 ごみピットバーに参加してきたが、非常に大盛況であった。バーでの飲食以外に施設見学もあり、そちらも盛況だったと感じる。ただ、クリーンセンターの身近で生活している周辺住民が抽選に当たらなかつたり、当選連絡が遅かつたりと、改善点もあるので、次回以降で抽選と運営の工夫をお願いしたい。個人的には、抽選に周辺住民枠を作ってほしい。

【委員】 周辺住民の意見も十分に聞き、通常業務とイベントとのバランスを取りながら、継続できるか検討し、広報でPRしていこうと思う。

【委員長】 世界的にみても他に例を見ない初の取組ではないかと思う。「観光」の一環としてのイベントと捉えると、通常業務との兼ね合いで実施に消極的になってしまうかもしれない。東北の他の自治体で観光振興でのイベントを、「観光」ではなく「感交」イベントとしているところがある。クリーンセ

ンターでのイベントも人と交わり施設について皆で感じてもらう機会として実施することで市民にも定着するのではないかと思う。

【委員】 どう運営していくかを考えるのは今後継続していくためには非常に大事になってくると思う。

【委員】 地元のシェアキッチンを活用したことや、提供される食べ物に廃棄される食材を工夫して調理されていて、運営手法として良かったと思う。

【委員長】 参加希望者が非常に多かったのなら有料化しても良いと私は考える。参加意識が高い方が抽選ではずれてしまうのはもったいない。

【副委員長】 焼却施設を広く知ってもらえる魅力的なイベントなので、人数での参加制限がかかるのは少々もったいないかもしれない。

【委員長】 立地的に市民との距離が近いことをどう上手く活用していくかの将来の検討課題として大事だと思う。

最後に今後のスケジュールについて説明をお願いします。

【事務局】 3/6に行政報告、3/15 から4/1にかけてパブコメを実施。4月中を目途に市民会議を開催予定としている。そして、6月までに答申として市長へ提出し、6月以降に議会へ報告となる。次回の会議は4月下旬になる予定である。

【委員長】 他になければこれにて閉会とする。

3. 閉会